

## ケーブル端末処理工具

細径低摩擦インドア光ファイバ用



**用途** FA/FSC(現地付外被把持)コネクタ取付時に、1心0.25mmSM型細径低摩擦インドア光ファイバ「R15」専用の工具です。

- 特徴**
- ・3つの機能が1つの工具に！！
    - 1)コネクタ製作用の端末処理(インドア光ファイバの口出し)
    - 2) 押し込み工法用の先端製作
    - 3) ペンチ機能(ケーブル切断補助機能)
  - ・長期間使用できるように刃の材質の選定および熱処理を施しました。
  - ・インドア光ファイバを握りやすいように、工具の先端全面に凸凹(すべり止め)を施しました。
  - ・細径専用の外被把持部材の黄色統一に合わせて、柄の色を黄色にしました。



細径用外被把持部材

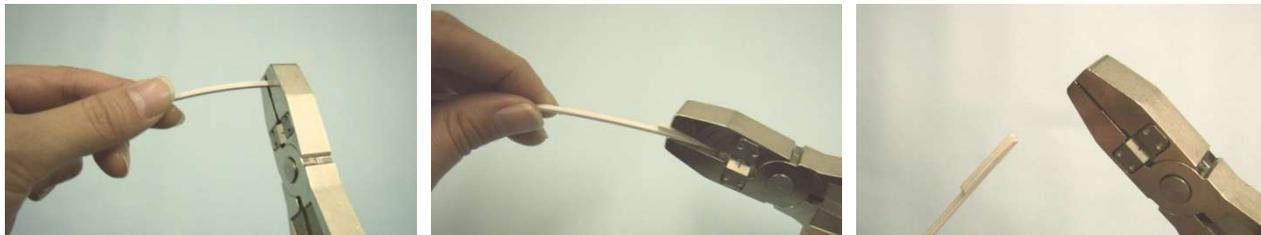
**仕様**

品名	寸法(mm)	重量(g)
ケーブル端末処理工具 細径低摩擦インドア光ファイバ用	140×90×25	230

## ケーブル端末処理工具【細径低摩擦インドア光ファイバ】作業手順

### 1. 押込み工法用の先端作製

工具の先端全面に施した凸凹(すべり止め)でインドア光ファイバを保持し、先端から1cm程度のところで折り曲げます。

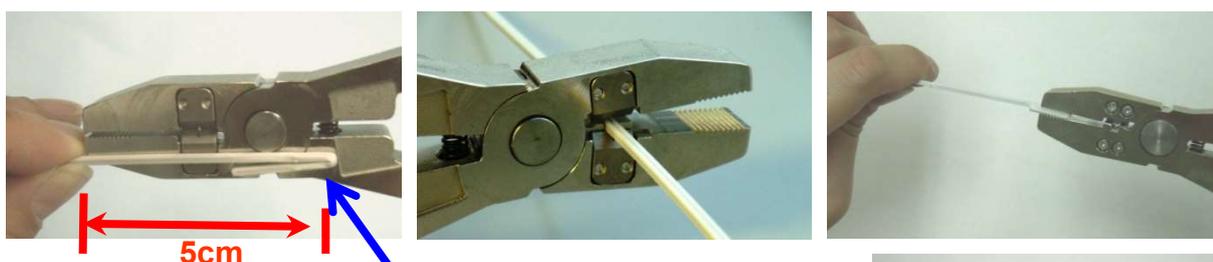


### 2. コネクタ作製用の端末処理

- ①本工具を利用して、口出し開始箇所(先端から5cm前後)を確認します。
- ②インドア光ファイバの口出し開始位置をガイド部にセットします。
- ③ガイド(上凸部、下凹部)にインドア光ファイバを確実に乗せる。
- ④グリップを握り、インドア光ファイバの口出し開始箇所に刃先を下ろす。
- ⑤グリップを最後まで握り、切断完了。
- ⑥インドア光ファイバの口出し側を本工具で握る。
- ⑦グリップで握った状態で、左手でインドア光ファイバを保持し右手で本工具を手前にインドア光ファイバと平行に引く。

**【!!禁止!!】**

グリップを握った状態で本工具を横方向へ引く(ファイバ心線を取り出そうとする)行為は、ファイバ心線や刃へ深刻なダメージを与えます。決して行わないで下さい。



段差の部分に先端を合わせる

### 3. ペンチ機能(ケーブル切断補助機能)

- ①切断箇所をガイド部にセットします。
- ②ガイド(上凸部、下凹部)にインドア光ファイバを確実に乗せる。
- ③グリップを握り、インドア光ファイバの切断箇所に刃先を下ろす。
- ④グリップを最後まで握り、切断完了。
- ⑤インドア光ファイバを切断箇所に中心に両手で保持し、ファイバを切断箇所から折り曲げる。

